

平成30年度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
《平成29年度実施事業》



天草市教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなっております。

本報告書は、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、平成29年度の本市教育委員会の所管事務について、点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告するものです。

<参考>

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成27年4月1日改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 外部点検評価	7P
1 点検評価員	
2 会議	
3 点検評価員の主な意見	
IV 点検評価調書	
1 平成30年度点検評価事業一覧	12P
2 点検評価調書	14P

I 点検及び評価に関する要領

1 趣旨

この報告書は、平成29年度における天草市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第26条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、地教行法第21条に「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第2次天草市総合計画」や「第2次天草市教育振興基本計画」を推進するため取り組んだ主な事業を対象として実施しました。

3 点検評価の方法

(1) 内部評価

対象とした施策ごとの主な事業について、その目的、平成29年度の実績内容等を示し、その結果を踏まえて、所管課としての評価及び課題・今後の方向性を記載しました。

(2) 外部評価

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々の意見を聴取する機会を設け、様々な意見、助言をいただきました。

4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第26条第2項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

6 点検評価調書の作成

(1) 「事業名」欄

平成29年度に実施した事務事業名を記載する。

(2) 「第2次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第2次総合計画における施策を記載する。

(3) 「政策(基本方針)」欄及び「施策計画」欄

「第2次天草市教育振興基本計画」の「政策(基本方針)及び施策計画」を記載する。

(4) 「目的・内容」欄

実施した事務事業の目的及び内容を記載する。

(5) 「取組実績」欄

平成29年度における取組実績について記載する。

(6) その他

平成29年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

(7) 「評価」欄

① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

○「成果・自己評価」欄

平成29年度に実施した事業について、成果及び自己評価を行う。

○「課題」欄

平成29年度に実施した事業における課題を記載する。

○「方向性」欄

成果・自己評価及び課題に基づき、今後の方向性を具体的に記載する。

② 評点

評価は、次の評点により行う。

○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや低い 1:関与の必要性は低い

○「達成状況」欄

4:達成できた 3:だいたい達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

(8) 総合評価(方向性)

(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の取組みの方向性を、次の区分により記載する。

- 廃止:平成29年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を終了する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員選任状況

《委員名簿》

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	任期
委員長	花里 昌直	H27.7.1～H31.6.30
委員長職務代理者	黒鶴 進治	H29.7.1～H33.6.30
委員	行合 八恵子	H28.7.1～H32.6.30
委員	木下 えり子	H26.7.1～H30.6.30
委員	蓑田 えり	H28.7.1～H32.6.30
教育長	石井 二三男	H26.7.1～H30.6.30

※委員の任期は4年 ※委員長の任期は1年 ※教育長は委員の中から選ばれる。

2 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。平成29年度においては、定例会を12回、臨時会を3回開催し、議案43件の審議、協議報告30件について審議しました。

市民への積極的な情報提供を行うため、会議を傍聴できることや、会議の日時、場所のホームページへの掲載などを引き続き行います。

また、教育委員会定例会及び臨時会の会議録をホームページで公開しています。

3 教育委員の主な活動状況

(1) 学校訪問

市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区分	対象	期日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	3園	平成30年1月22日～平成30年1月25日	延べ 5人
小学校訪問	21校	平成29年6月16日～平成29年11月28日	延べ 49人
中学校訪問	13校	平成29年6月29日～平成29年11月8日	延べ 29人

(2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成30年1月15日には、熊本県市町村教育委員研修大会に4名の教育委員(教育長含む)が出席しました。

(3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成29年 4月 4日	6人
入学式・入園式	平成29年 4月	延べ15人
成人式(10地区)	平成29年 8月、30年 1月	延べ15人
研究発表会(小中学校研究指定校8回)	平成29年10月～平成30年 2月	延べ35人
社会を明るくする運動推進大会 青少年育成健全大会	平成29年 7月 8日	5人
退職者感謝状贈呈式	平成30年 3月22日	5人
読書イベント(お絵かき・ワークショップ)	平成30年 2月 4日	1人
教育力活性化推進大会	平成30年 2月10日	6人
卒業式・卒園式	平成30年 3月	延べ15人

3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童生徒の就学指導
天草市いじめ防止対策審議会	2回	本市のいじめ問題に係る現状報告、いじめ事案に関する審議
天草市いじめ問題対策連絡協議会	1回	本市のいじめ問題に係る現状報告 いじめ問題に係る情報交換・意見交換
天草市立学校給食センター運営委員会 (各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認、管理運営
天草市社会教育委員会議	2回	事業報告、事業計画、生涯学習推進指針、複合施設の建設
天草市立図書館協議会	2回	事業報告、事業計画、複合施設の建設
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業報告、事業計画、複合施設の建設

4 教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、ホームページにおいて市民へ様々な情報を提供しています。

平成29年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事について、「市政だより天草」に随時掲載し周知に努めました。また、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、会議録、教育の現状及び課題、施策等についてもホームページで情報の提供を行っています。

Ⅲ 外部点検評価

1 点検評価員

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部准教授
松本 由香里	元天草市教育委員

2 会 議

第1回点検評価員会議

- ・ 平成30年7月24日(火) 五和農業情報センター マルチメディア室

第2回点検評価員会議

- ・ 平成30年8月29日(水) 五和農業情報センター マルチメディア室

3 点検評価員の主な意見

①教育総務課所管事業

- ・ 離島高校生修学支援事業について、昨年指摘されていた下宿等補助であるが、指摘を受け、平成30年度からは要綱の見直しが行われ、改善されており評価できる。離島振興法との関係もあるが、実態に即した見直し等を適宜行うことも必要であると考えます。
- ・ 姉妹都市教育交流事業について、天草市からの派遣が隔年であるため、毎年派遣を検討するとのことであるが、派遣への応募チャンスが増えることは良いことである。先方の受け入れ態勢の問題もあるが、交渉し前向きに検討をお願いする。
- ・ 小学校施設大規模改造事業及び中学校施設大規模改造事業について、公共施設の整備計画に従い事業を実施することとなるが、国の補助金交付の可否によって計画が遅れていく。全体計画に齟齬をきたさないよう、国の補助が受けられる場合は速やかに事業が実施できるよう準備をお願いしたい。

②学校教育課所管事業

- ・ 学校教育研究委員会事業で設定されている成果指標は実績であり指標ではないように感じる。他に指標となるものがあれば指標の変更を検討いただきたい。また、道徳も評価を行う教科になったので、道徳について研究部会の設置を検討する必要があるのではなか。か。
- ・ 学習指導補助教員設置事業であるが、指標の目標値が達成されているにも関わらず総合評価は拡充となっている。学校数は統廃合を行い減少しているにも関わらず何故拡充なのかと言わざるを得ない。学校からのニーズに対する予算不足であるならば、より多くの要望に応えられるよう予算を確保する必要がある。
- ・ 読書活動支援事業において人材確保に苦慮しているとのことであるが、退職者との人的ネットワークを構築するなど人材確保について、工夫・検討する必要がある。
- ・ グローバル人材育成事業において、京都大学大学院の留学生の参加が減少している状況であるとのことであるが、留学生にも天草市を訪れるメリットがなければ参加しないのではないか。留学生へのアンケート等を実施し、参加者が減少している原因を検証する必要がある。

る。

- ・ 総合的な学習活動支援事業であるが、申請に基づき補助を行う事業であるので現在の指標が実施校数とされているが指標にならないと考える。来年度は指標について検討をお願いする。
- ・ 心の教育相談事業であるが、非常に重要である。相談は来訪を待つだけでなく、学校側から生徒の状況によって相談にのって欲しい。学校から生徒・保護者へのアプローチが必要ではないか。
- ・ 適応指導教室設置事業であるが、学校へ登校できない生徒は、学校に居場所がないことが問題である。教育を受ける機会はもちろんのこと、社会に触れること、自分の居場所としての価値が「カワセミ学級」にはある。本渡中学校の生徒以外でも、学校に登校できない生徒がいる場合には、活用できるようにしていただきたい。
- ・ 天草市特別支援教育総合推進事業について、相談件数が多いことが良いわけではないが、学校と連携しニーズの掘り起こし、必要なニーズに確実な対応をお願いする。教職員も悩みがある場合には専門家に相談できるよう、積極的な環境づくりをお願いする。
- ・ 教育相談事業であるが、就学前の支援を具体的にどう繋げていくのかが大切である。また、相談できる事業を実施していることをもっと周知することが必要である。
- ・ 学校訪問指導の充実であるが、熱中症対策・災害時の対応について各学校においてハザードマップ等を利用し、大雨など災害時の対応について具体的な策を考えておく必要がある。学校ごとに災害対策について考え、マニュアル等の作成が必要ではないか。そのような点にも踏み込んだ経営問題の指導をお願いしたい。
- ・ 市指定教育研究推進校補助金であるが、設定されている指標が成果の対象にならない。新たな指標の設定をする必要がある。研究を単独で行うのではなく、複数校で連携するなど工夫していただきたい。
- ・ コミュニティスクールの推進に向けた取組みであるが、課題が昨年と同じで、改善されていない。今後、改善されることを望む。
- ・ 小中学校 ICT 整備事業であるが、物品の購入事業である。重要なのは購入後の活用である。教職員に活用できる研修を行っていただきたい。
- ・ スクールバス運行事業であるが、学校の統合により交通手段を確保する必要がある。適正な事業方法を検討していただきたい。また、スクールバス運転手への研修を充実させ、児童・生徒に統一したルール・態度をとれるような研修の実施をお願いする。

③生涯学習課所管事業

- ・ 家庭教育支援事業であるが、管轄外である保育園と上手く連携が取られておらず、事業の周知ができていないように感じる。同じ対象者に色々な事業が複数行われている場合は、より効率的に考えていくためにも横の連携を強化する必要がある。
- ・ 成人式は参加率も高く内容も良い。成人年齢の引き下げによる影響が懸念されるが、それまでは現状のままの開催でよい。
- ・ 移動図書館事業では、まちづくり活動と図書館利用が有機的に繋がると良い。そうするこ

とによって高齢者の方々に外に出てきてもらうことができる。まちづくり所管課と連携し、移動図書館をまちづくりに活用して良いのではないかと考える。移動図書館の配本は古いものが多いので、最新刊とは言わないが、なるべく新しい本を配本できるように工夫をお願いする。

- ・ 読書活動推進事業は、非常に幅の広い事業であるが指標となるものが少なく、示されている指標は似通ったものであるので、指標の見直しを検討してもらいたい。
- ・ 生涯学習推進事業については、自主学級が結成されており、自主的な市民の取組みに繋がることが良く、そのあたりが進めば進むほど自主講座が増えていくことが望ましい姿である。個々の公民館の生涯学習講座から巣立っていく人たちを増やせる講座、増やせるような講座が望ましい。参加したいけれども、どの様な講座が開催されているのかわからない。効果的な講座の周知方法の検討を進めて欲しい。
- ・ 勤労青少年ホームは今の若者に馴染みがない。逆に自分たちには関係ない施設である、その様なイメージを持ってしまう場合もある。勤労青少年という言葉の定義をみんな理解できない。勤労青少年ホームは時代にそぐわなくなっているのではないか。天草市においては、複合施設が建設されるとのことであり、それに合わせて検討が必要である。
- ・ 放課後子ども教室と放課後児童クラブは似通った事業であるが違いがわからない。地域の方々も理解できていないのではないか。今後、どの様なあり方が望ましいのか、地域の方々で検討してもらうことが必要ではないか。
- ・ 青少年健全育成事業は、補助金を支出するだけであり、申請する団体が無ければどうしようもない。新規に申請する団体が利用できるよう、制度の周知を行う必要がある。

④学校給食課所管事業

- ・ 地産地消率は、その年度の気候や食材の値段に左右される目標値を達成することが厳しい時もある。工夫・努力をしていただき、目標値を達成できるようお願いします。また、子どもたちの教育としての食を考えた場合、学校栄養士が献立を作成するが、その際、食文化の推進(天草の郷土料理)を将来的に子どもたちが思い出したり、作ったりして次の世代に繋げる時に、共通理解として天草の食を勉強する機会、みんなで献立を考える機会など設けることも必要である。

4 総合評価

澤田道夫氏

●教育総務課所管事業

教育総務課で実施する事業は全体に関わるものである。学校施設の整備は、粛々と進めて行かなければならない事業であるが、エアコン設置は教育環境の改善のため早急な対応をお願いする。姉妹都市交流事業においては予算確保をしなければならないが、受入れよりも派遣をすることにより高い事業効果があると思われる。毎年派遣できるよう調整をお願いする。

●学校教育課所管事業

学校教育は天草市の子どもたちに対する教育の重要な部分である。天草市は広く、遠方から通学する児童・生徒もおり、それぞれの地域のニーズや子どもたちの考え方、学校が抱えている課題もいろいろあるのではないかと推察する。そのようなことにも柔軟な対応ができる体制づくりをお願いする。また、地域との連携は生涯学習課との連携も重要であり、例えば、地域学校協働本部、コミュニティスクールなどいろいろ地域と繋がる部分があるので、教育委員会内でも連携をお願いする。

●生涯学習課所管事業

生涯学習は今、非常に重要性が増しており、熊本県の社会教育課でも人生100年時代を見据えた生涯学習の在り方がテーマとされ、生涯学習の在り方自体について検討されている。今までのように、学習・就労・引退といった単純な3ステージに人生を分けるのではなく、もっと多様な生き方が重視され、生涯学習の重要性が増してくるそんな世の中になってくる。生涯学習の重要性を認識し、天草市における生涯学習の推進の在り方を検討していただきたい。

●学校給食課所管事業

学校の統廃合により、各給食センターの管轄する区域が広がっている。そのことも勘案され、安心・安全な給食を提供できるよう留意していただきたい。また、食育に繋がる取組みも検討されたい。

【全体的意見・要望等】

各課が所管する事業は熱心にしっかりとされている。教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価は地方教育行政の組織及び運営に関する法律に実施することと規定されている。前年度に実施された事業の点検・評価であるので、今年度には改善されている事業もあり、意見を述べることは心苦しい。しかし、一方で毎年点検しているが改善されていない事業も見受けられる。今後は、各課の悩み・課題の意見交換をし、今後の事業に活かしていただきたい。

松本由香里氏

●教育総務課所管事業

災害時には学校が避難所になる場合もある。そのようなことから、今後は学校の体育館にエアコンの設置を検討していく必要があると考える。

●学校教育課所管事業

天草市では障がいのある子どもの保護者が、診断も含め求めている情報等を得ることができず、自ら探し熊本市内の病院等へ出向いていることもある。そのような保護者の意見を聴取する機会があれば、より質の高い情報提供ができるのではないかと考える。また、既にゲーム依存症が病気として認められており、教職員もこのことについて自ら学習する必要がある。与えられた情報だけでなく、これから起こり得る情報を予測しながら学ぶことが求められる。そのような点についても、教職員に指導をお願いする。

●生涯学習課所管事業

第2次天草市教育振興基本計画に記載されている社会教育施設などの充実の満足度を上げるために事業を実施されているが、建物が古い、新しいではなく内容や市民の充実度が高くなるような事業を実施できたのが、評価の基になる。今後も目標値に達するよう努力をお願いする。

●学校給食課所管事業

給食調理業務の民間委託を行われているが、今後は定期的な管理体制のチェックを確実にお願いする。

【全体的意見・要望等】

教育委員会が実施する全ての事業は、市民生活の質の向上や子どもたちの未来に繋がるものであり誠に重要である。積み重ねられ、修正されながら継続されている事業も多いが、昨今は市民の考え方も多様化し、求められる内容も変化が激しくスピードも要求される。それを踏まえた上で、事業評価を行い、今だけでない未来に繋がっているかを確かめていただきたい。また、多忙を極める業務の中で、継続事業は時に流されがちになるが、より質の高いニーズに合った事業を提供するために日頃から多方面の情報を集め、ネットワークを広げておき、既成概念にとらわれない柔軟な発想と行動力で事業に取り組んでいただきたい。そうすることによって、新しい問題が発生した時にも的確でより具体的な対応に繋がり、行政への信頼となる。

V 今後の方向性

- (1) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、課を跨いで事業の統合ができるものがあれば、十分検討・協議を行い、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (2) 点検評価の結果に基づき、事務事業の今後の取組みの方向性等の見直しを行い、次年度の予算に反映させる。

平成30年度 点検評価事業一覧

政 策 (基本方針)	施策計画	整理番号	事務事業名	所管課	
学校教育の充実	学力の向上	1	学校教育研究委員会	学校教育課	
		2	学習指導補助教員設置事業		
		3	読書活動支援事業		
		4	外国青年教師招致事業		
		5	グローバル人材育成事業		
		6	総合的な学習活動支援事業		
			7	離島高校生修学費支援事業	教育総務課
			8	姉妹都市教育交流事業	
	心の教育の充実		9	心の教室相談事業	学校教育課
			10	適応指導教室設置事業	
	特別支援教育の充実		11	天草市特別支援教育総合推進事業	
			12	教育相談事業	
	教職員の資質の向上		13	学校訪問指導の充実	
			14	市指定教育研究推進校補助金	
	学校・家庭・地域との連携		15	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み	

平成30年度 点検評価事業一覧

政 策 (基本方針)	施策計画	整理番号	事務事業名	所管課	
学校教育の充実	教育を支える環境づくりの推進	16	小学校施設大規模改造事業	教育総務課	
		17	中学校施設大規模改造事業		
		18	小・中学校統合推進事業		
			19	小中学校ICT整備事業	学校教育課
			20	スクールバス運行事業	
	学校給食における食の安全と食文化の推進		21	地産地消の推進	学校給食課
			22	学校給食施設整備事業	
	生涯学習の充実	生涯学習の推進	23	家庭教育支援事業	生涯学習課
24			成人式		
25			移動図書館事業		
26			読書活動推進事業		
27			生涯学習推進事業		
28			勤労青少年ホーム事業		
29			社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業		
30			放課後子ども教室		
31			青少年健全育成事業		

点検評価調書		整理番号	1				
事業名	学校教育研究委員会			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上			
事業目的・内容	市内幼稚園、小中学校の実態に応じた課題に対応するため、よりよい教育実践のための資料の作成や、いじめ不登校問題を中心とした生徒指導上の諸問題に対する共通理解と実践化を図るための会議を開催したりすることを通して、児童生徒の学力向上と、心豊かで充実した園・学校生活の確保を図る。						
取組実績	<p>「学力向上およびICT活用に関すること」、「幼稚園・小学校の英会話科に関すること」、「いじめ不登校問題に関すること」、「学校経営に関すること」の4つの課題に対して、それぞれ専門部を置き、調査・研究を進めた。</p> <p><学力向上ICT活用部会> 本市の全国学力・学習状況調査を分析し、課題を洗い出し、その課題を克服する指導方法の研究を行った。8月23日、天草市の全教職員を対象にした教職員研修会を市民センターで行い、本委員会の委員が発表を行った。また、12月7日にICTの効果的な活用について研修会を開催した。</p> <p><英会話科部会> 文科省から教育課程特例の指定を受け、平成28年度から市内の全小学校で「英会話科」を実施しており、本部会では、教材の整備や指導法の工夫改善に資する授業づくりの研究を行い、全小学校への情報提供等を行った。</p> <p><いじめ不登校問題部会> 本市において6月と12月に実施する「心のアンケート」を実施し、集計、結果分析を行い、各学校に情報提供を行った。また、近年増加しているSNS問題についての調査・結果分析・情報提供も併せて行う。</p> <p><学校経営部会> 教頭・主幹教諭研修会や各種研修会等を企画・運営したり、先進校等の視察研修の実施したりした。高知県嶺北郡嶺北嶺北中学校視察。</p>						
決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,162 (一般 1,162)	学力向上ICT部会 6回 いじめ不登校部会2回 英会話科研修会10回 天草市全教職員研修会1回	回	目標値	19			
			実績値	19			
			目標値		4	4	4
			実績値				
成果 自己評価	<p>○上位施策への貢献 英会話科の充実、いじめ・不登校問題に対する各学校への情報提供により、学力向上、グローバル人材の育成及び心豊かに生きる人づくりに貢献した。</p> <p>○市関与の必要性 天草の子供たちが、将来に夢や希望をもち、それを達成するために必要な「確かな学力」や「豊かな心」を身につけさせることは、学校の責務であり、市の関与は必要である。</p> <p>○達成状況 学校経営部会における先進校視察、英会話科についても、指導計画の見直しや教職員研修の充実、いじめ不登校部会における心のアンケートの分析、ICT部会における職員研修会の実施など、すべての部会で具体的な取組が行えた。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>新学習指導要領では、小学校における外国語教育も正式に教科として導入されることが決まっている。本市においては、教育課程特例校の指定を受け、平成28年度からすべての小学校において、教科として英会話を実施しており、これまで英語教育を行ってこなかった小学校教員の負担とならないよう、授業の進め方等の具体的な研修会を実施し、充実させることは急務である。また、インターネットを介したいじめやトラブルは依然として生徒指導上の大きな課題であり、携帯電話やスマートフォンの所持率、いじめの件数等の調査を行い、最新の事態の把握に努めている。不登校の増加と併せて、各学校への指導・助言を一層充実させる必要がある。</p>					継続	
方向性	<p>方向性については、調査・研究内容の充実を図りながら継続することとしたい。また、タブレットPCの導入が進む中、教職員の負担軽減に向けてもICT研修を継続させていく必要がある。また、今後、道徳の教科化に伴う適切な評価方法などについても研究を進めていきたい。</p>						

点検評価調書		整理番号	2					
事業名	学習指導補助教員設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上				
事業目的・内容	小学校及び中学校においてチーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図るために、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置を行う。							
取組実績	市内の小学校1学年・2学年に31人以上の学級がある学校や、小規模校で複式学級がある学校、また、特別な支援を要する児童・生徒が在籍する学級を抱える学校に対して教員免許を持つ非常勤職員を配置した。 ・学習指導補助教員配置数 45人							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
103,769 (一般 103,769)		学習指導補助教員の配置 数(年度末時点)	人	目標値	43			
				実績値	45			
				目標値		4	4	4
				実績値				
成 果 自己評価	きめ細やかな教育の指導を行うことにより、子供達の学習能力の向上が図られた。						総合評価 (方向性)	
課 題	学校の状況を把握し、人材を探しながら配置することができた。しかしながら、学校からの要望は非常に多い。予算面の問題もあるが、より多くの希望に添えるよう学校の選定を行っていくことが重要である。						拡充	
方 向 性	支援を必要とする子ども達は年々多くなっている傾向にあり、学校からの要望も非常に多い。身体的又は心の支援を必要とする子ども達のために、その要望に応えられるよう、拡充したい。							

点検評価調書		整理番号	3					
事業名	読書活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上				
事業目的・内容	<p>学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、情報活用能力を向上させる等効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するため、全小・中学校に学校司書を巡回配置する。</p> <p>これにより、司書教諭及び学校図書館に関する業務補助を専門とするため、学校図書館教育の充実が図られる。</p>							
取組実績	<p>図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内小・中学校(34校)に、2校又は3校に1人の割合で巡回配置した。ただし、学校規模により、本渡南小、本渡北小、亀川小、本渡中については、1名を専属で配置した。</p> <p>・学校司書配置数 18人</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
35,425 (一般 35,425)		学校司書配置数	人	目標値				18
				実績値	18			
		貸出冊数	冊	目標値	280,000	4	4	4
				実績値	285,433			
成果 自己評価	図書館の視覚的な環境整備や、蔵書の整備を行うことにより、子ども達の本への関心を高めることができた。					総合評価 (方向性)		
課題	学校教育において、効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するためには学校司書の存在は欠かせないが、図書館業務においては専門的知識を必要とするため、学校司書の応募が少なく、採用については毎年苦慮している状況である。					継続		
方向性	学校における読書活動等のさらなる充実を図るため、今後も継続していくこととしたい。							

点検評価調書		整理番号	4					
事業名	外国青年教師招致事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上				
事業目的・内容	<p>(事業目的) 生きた外国語を市内小・中学生に学習させるため、外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し、語学指導等を行い、国際交流・異文化交流を推進する。 市では、平成28年度から全小学校の教育課程に「英会話科」を創設し、定期的に小学校への巡回も行い、生きた外国語に触れる良い機会となっている。</p> <p>(事業内容) 外国語指導助手11人を市内小・中学校に巡回方式で配置し、担任教諭とのチーム・ティーチングにより語学指導等を行う。地域においては、社会教育、地域行事へのボランティア参加を促し、国際交流・異文化交流の推進を図っている。牛深ハイヤ祭り、下田温泉お湯かけ女神輿等に参加して地域の行事を盛り上げている。</p>							
取組実績	本渡地区小・中学校 4人 牛深地区ほか8地区小・中学校 7人 計 11人							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
51,695 (一般 51,695)		外国語指導助手人数	人	目標値	11			
				実績値	11			
				目標値		4	4	4
				実績値				
成果 自己評価	外国語指導助手の担当校の見直しを更に行い、学校間及び外国語指導助手間にあった授業数の差の解消につなげた。また、外国語指導助手向けの研修会を実施し、情報を共有するなどしたことで、外国語指導助手の学校現場における不安解消を図ることができた。さらに、異文化体験イベント「AmakusaEnglishDay」を開催し、学校だけでなく地域での交流にも取り組むことができた。						総合評価 (方向性)	
課題	平成30年度より小学校に英語専科の教職員が配置されることに合わせて、より効果的な学習につながるよう、英語指導補助教員を含めたところで、担当校の勤務日等を調整していく必要がある。						継続	
方向性	市が主体的に行う幼稚園・小中学校における「英会話科」の取り組みになくはない存在のため、今後も継続していくこととしたい。							

点検評価調書		整理番号	5					
事業名	グローバル人材育成事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上				
事業目的・内容	<p>(事業目的) さまざまな国の出身者(外国人)と児童・生徒が、伝統・文化・自然・歴史等の地域資源(宝)を共に学び、会話を通してお互いの文化や言語の理解を深めることにより、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度やコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>(事業内容) グループワークを通じて、互いの文化や言葉の違いを理解し合う。プログラム中のコミュニケーションは、原則として英語を使用する。 ・講師陣…京都大学経営管理大学院留学生、天草市外国語指導助手(ALT)</p>							
取組実績	<p>【天草 English Day】 (1)牛深会場:平成29年9月2日 牛深総合センター 大会議室 <小学生対象> 10:00~12:00 参加者 34人 <中学生対象> 13:30~15:30 参加者 32人 (2)本渡会場:平成29年9月3日 天草宝島国際交流会館ポルト 多目的ホール <小学生対象> 10:00~12:00 参加者 76人 <小・中学生対象> 13:30~15:30 参加者 76人 参加者総合計 218人</p> <p>【学校訪問】 (1)新和中学校:平成29年9月1日 新和中学校 体育館 <参加者>新和小学校5・6年生、新和中学校全校生徒 (2)御所浦小学校:平成29年9月4日 御所浦小学校 体育館 <参加者>御所浦小学校全校生徒</p>							
決算額		指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,109 (一般 1,109)		本事業を楽しんでいる児童の割合	%	目標値	90.0			
				実績値	100.0			
		目標値						
		実績値						
成果 自己評価	イングリッシュデイに参加した児童生徒のアンケート結果では、100%の人が楽しかったとの回答であった。様々な国の外国人とふれあうことで、児童生徒の外国語に対する興味・関心の向上、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。						総合評価 (方向性)	
課題	本事業に参加する京都大学大学院の留学生や本市の外国語指導助手も含めたところで、イングリッシュデイの内容を見直す等、さらに生かした事業とするための検討が必要である。						継続	
方向性	京都大学経営管理大学院とは二地域就労促進事業で包括協定を結んでおり、今後もグローバルな人材を育成するため、継続していくこととしたい。							

点検評価調書		整理番号	6				
事業名	総合的な学習活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務1係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上			
事業目的・内容	<p>体験から興味関心を高めることにより学習意欲の向上を図ることを目的として、学習指導要領の中にある「総合的な学習の時間」において、横断的・総合的な課題などについて、天草の自然環境・歴史・伝統・文化等について、調査・観察・見学・体験などの学習に係る経費の支援を行なう。</p> <p>また、学習の場を校区外へ広げ、児童が天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、理解を深めるなどの体験活動を通して、ふるさとを多面的に捉え、宝島天草を愛し、未来を切り拓く力を育成するとともに体験事業を通して自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど「生きる力」を育成する。</p>						
取組実績	<p>市内全小・中学校34校に対し、総合的な学習活動に係る経費を負担する。 対象経費：交通費・講師謝礼等 【経費内訳】 ①報償費 15,000円 (小学校： 0円 中学校： 15,000円) ②使用料 1,605,233円 (小学校： 1,483,593円 中学校： 121,640円)</p>						
決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,621 (一般 1,621)	実施校	校	目標値	34			
			実績値	34			
			目標値		4	4	4
			実績値				
成果 自己評価	<p>各校で自然環境・歴史・伝統・文化等の調査・観察・見学・体験活動(企業・工場・施設見学や職業・ふるさとの体験など)を実施し、児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、天草の伝統・文化への理解を深めることができた。なお、実施にあたり、文化課などが作成する資料を活用し、事業に取り組むことができた。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>各校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、各学校のニーズに合わせた予算措置が必要である。また、平成30年度は崎津集落の世界遺産登録も期待されており、特に学習機会を設けることが必要と思われる。</p>					継続	
方向性	<p>方向性については、学校統合により校区が広域であることから、児童生徒の移動手段の確保等に対応する必要があるため、積極的に継続することとしたい。</p>						

点検評価調書		整理番号	7			
事業名	離島高校生修学費支援事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 御所浦町から高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減する。 ●対象者 高等学校等に在学する生徒の保護者で、通学費若しくは下宿費等を負担している者。 ●補助対象経費及び補助額 ・御所浦町から天草市内の高等学校に定期船で通学する場合の定期船定期券代の全額 ・御所浦町を離れ、高等学校等に通学するために寮若しくはアパート等を利用している場合の住居費 月額10,000円を上限(10,000円未満の場合はその額) <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的 御所浦町から天草高等学校倉岳校に通学する生徒が、朝課外及び部活動等に参加する場合の修学環境の向上を図る。 ●補助内容 定期船が利用できない時間帯に、天草高等学校倉岳校の校長が事前に定めた行事(朝課外・部活動等)において海上タクシーを利用する場合、利用料から1人当たり200円を差し引いた額を補助する。 ●補助対象者 天草高等学校倉岳校御所浦地区保護者会 					
取組実績	<p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ■通学費補助 補助対象生徒数 22名 補助額 3,114,000円 ■下宿費等補助 補助対象生徒数 51名 補助額 5,712,600円 計8,826,600円 <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ■利用日数 123日 利用船舶数(隻) 247隻 利用者数(延べ) 1,818人 ■補助額 451,400円 (海上タクシー借上料 815,000円-利用者負担額 363,600円) 合計 ①+②= 9,278,000円=9,278千円 					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
9,278 (国庫支出金 3,629) (県支出金 2,008) (一般 3,641)	補助対象生徒数	人	目標値			
			実績値	73		
	目標値		4	4	4	
	実績値					
成果 自己評価	御所浦支所まちづくり推進課にも申請書を備え付け、提出できる体制を取ることができた。しかし、補助金請求期間を周知していたにもかかわらず、期間内に全ての補助決定者から請求がなかった。補助金支給を半年ごとの2回に分けているため、請求を忘れていた者がいた。今後は、請求時に再度通知をするなど対策をとる必要がある。 目標値に比べ実績値が低いが、引越等により請求がなかったため目標値を下回った。補助申請者には全て交付することができた。 また、平成30年度より交付要綱の見直しを行った。				総合評価 (方向性)	
課題	離島振興法及び熊本県御所浦振興策による事業であるが、下宿費等補助については、市内の他地域から高等学校等に通学する生徒に補助をしていないため、公平性に欠けるとの意見がある。(他地区との公平性の担保)				見直して継続	
方向性	離島振興法及び御所浦振興策による事業であるため、補助対象者の見直し等を行い継続する。					

点検評価調書		整理番号	8			
事業名	姉妹都市教育交流事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	国際化の推進	施策計画 姉妹都市・大学との交流連携による人づくり	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>●目的 本市の姉妹都市であるエンシニタス市(アメリカ合衆国・カリフォルニア州)と中学校生徒の派遣・訪問団受入れを交互に実施することにより、異なる文化や言語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身につけ、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年育成を図る。</p> <p>●内容 隔年で中学校生徒の派遣、エンシニタス市からの訪問団の受入れを行う。</p> <p>■中学生の派遣 ①ホームステイ ②市長表敬訪問・ジャパニーズフェスティバル等への参加 ③ロサンゼルス観光</p> <p>■エンシニタス訪問団の受入れ ①文化交流事業(茶道・華道体験、イルカウォッチング等) ②市内中学校を訪問し交流学習 ③ホームステイ(市民との交流)</p>					
取組実績	<p>平成29年度は天草市よりエンシニタス市に市内中学生6名・引率者1名を派遣した。 派遣期間：平成29年7月31日(月)～平成29年8月9日(水) 派遣中の活動：野球観戦・サーフィン体験・ビーチバレーボール・ハイキング・ジャパニーズフェスティバルへの参加 ロサンゼルスでの観光(ユニバーサルスタジオ・ハリウッド・リトル東京) 滞在中の宿泊はエンシニタス市民宅にホームステイを行った。(6日間) 生徒への補助については、派遣に係る旅費20万円を上限。引率者は全額補助。 派遣後は報告書の作成した。また、派遣された生徒は各学校において文化祭等で発表を行った。</p>					
決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価		
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
9,278 (国庫支出金 3,629) (県支出金 2,008) (一般 3,641)	派遣者数 (内生徒数)	人	目標値			
			実績値	7(6)		
	目標値		4	4	4	
	実績値					
成果 自己評価	派遣中、中学生はホームステイをしながら様々な体験をすることで異国文化に触れ、貴重な体験をすることができた。英語が喋れない・聞き取れない中、ジェスチャーを交え伝える大切さを実感した生徒もいた。天草では経験できない体験を通じ、国際理解を深めることができた。				総合評価 (方向性)	
課題	姉妹都市教育交流事業は交互に派遣、受け入れを実施しているが、受け入れについては、事業効果は薄いと思われる。エンシニタス訪問団の受入れは教育交流事業ではなく姉妹都市交流事業として実施し、エンシニタス市側の対応次第ではあるが、生徒を派遣する方が事業としての効果が高いと考えられるのため毎年派遣できないか協議を行う必要がある。 また、派遣に係る旅費の補助も航空機チケット代が高騰した場合には保護者の負担が増加するため検討する必要がある。				見直して継続	
方向性	エンシニタス市からの訪問団の受入れは、教育交流となっていないため、姉妹都市交流の中での位置づけ等を検討することとし、見直して継続する。					

点検評価調書		整理番号	9			
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務2係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	心の教育の充実		
事業目的・内容	<p>中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供するため、各中学校の相談室に「心の教室相談員」を各1名配置し、悩みを抱える生徒の相談に対して、問題解決に向けた指導、助言を行い、生徒の心のケアにあたる。</p> <p>(業務内容) ①教育相談 ②相談室登校への対応 ③保護者との連携推進 ※報酬 1時間当たり1,000円 ※週20時間以内</p>					
取組実績	<p>市内中学校全13校に相談員を1人ずつ配置した。</p> <p>[心の教室相談員] (配置校) 本渡中1名、本渡東中1名、稜南中1名、牛深中1名、牛深東中1名、有明中1名、御所浦中1名、倉岳中1名、栖本中1名、新和中1名、五和中1名、天草中1名、河浦中1名 計13名配置</p> <p>(相談件数) 3,900件</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
9,140 (一般 9,140)	相談件数	件	実績値 3,900			
	相談員設置校数	校	目標値 13 実績値 13	4	4	4
成果 自己評価	市内の全中学校に心の教室相談員を配置することができ、生徒の様々な悩み相談等に対して指導・助言を行ったことで、生徒のストレスを和らげたり、心のケアをすることができた。				総合評価 (方向性)	
課題	子ども達の悩み等に対する的確なアドバイスができるよう、相談員の質の向上を図っていくことが重要であるため、情報交換を含めた研修会等を更に充実させていく必要がある。また、突発的事項等にも対応できるよう、学校との連携を図っていく必要がある。				継続	
方向性	中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続していくこととしたい。					

点検評価調査		整理番号	10			
事業名	適応指導教室設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	心の教育の充実		
事業目的・内容	<p>(事業目的) 天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行う。</p> <p>(事業内容) 教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施している。</p> <p>[開級日] 学校授業日のうち月曜日から金曜日 [学級時間割] 朝の会10:00～ (学習・給食) 帰りの会 15:00</p>					
取組実績	<p>指導員2名を配置した。</p> <p>・通級生徒数 12人 (うち学校へ復帰した生徒数) 3人</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
4,961 (一般 4,961)	通級生徒数 (うち学校へ復帰した生徒 数)	人	目標値	4	4	4
			実績値			
			目標値	4	4	4
			実績値			
成果 自己評価	<p>心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行ったことで、平成29年度は12名の在籍に対し、3名が復帰することができた。</p>				総合評価 (方向性)	
課題	<p>カワセミ学級は本渡中学校の分教室という位置づけであるため、利用者は本渡中学校の生徒が多い。しかし、他の中学校からも通級という形で当該学級に通えるカワセミ学級についての周知等を図り、真に支援が必要な不登校(気味)の生徒に対して指導・支援を行っていく必要がある。</p>				継続	
方向性	<p>様々な理由により学校に登校できない子ども達に、教育を受ける機会や社会と繋がる機会を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続していくこととしたい。</p>					

点検評価調査		整理番号	11					
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	特別支援教育の充実				
事業目的・内容	<p>ここ数年、各保育所・園、幼稚園、学校において特性のある子どもについて、様々な特性を持っており配慮や支援を要するの課題のある子どもたちが増加傾向にある。本事業は教育長を会長とする天草市特別支援教育連携協議会を中心としながら13の中学校区における地区の連携協議会を土台として進めている事業である。市の事業の趣旨を推進会議ですべての地区に周知しながら、夏季の教職員を対象としたコーディネーター研修会や実務担当者会議及び巡回相談から進めている事業である。</p>							
取組実績	<p>発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や支援の実施に向けて、幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の推進を図った。</p> <p>推進会議(年2回実施)では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげた。また、実務担当者会議(年4回実施)では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図ることができた。各会議においては、各園・学校の実態把握とともに、今日的な課題等について実践発表等の研修を充実させた。</p>							
決算額		指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
222 (一般 222)		推進会議(2回) 実務担当者会(4回) コーディネーター研修会(1回)	回	目標値	7			
				実績値	7			
		巡回相談件数 (相談希望件数)	回	目標値	56	4	4	4
				実績値	56			
成果 自己評価	<p>本事業の中で最も大きな研修会である天草市特別支援教育コーディネーター研修会では、各学校のコーディネーターをはじめ、特別支援教育に携わっているコーディネーター以外の教員も参加し、175人(前年度比170%)の参加者があった。「義務教育の入り口から出口まで」というテーマのもと、つながりのある支援体制について実践発表や熱心な協議が行われた。また、本事業のもう一つの柱である巡回相談事業についても、29年度は56件の相談希望があり、56件すべて実施することができた。</p>					総合評価 (方向性)		
課題	<p>巡回相談件数については、平成28年度、68件の希望件数に対して、今年度は56件の相談希望件数であった。本相談事業について、各関係機関にさらに周知を図り、各園・学校との連携を密にして多様なニーズに対応していく必要がある。</p>					継続		
方向性	引き続き積極的な取組として継続としたい。							

点検評価調書		整理番号	12				
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	特別支援教育の充実			
事業目的・内容	<p>教育相談員(教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー)を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小・中学校の児童・生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを支援する。</p> <p>また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施し、解決に向けてサポートする。</p>						
取組実績	<p>教育相談カウンセラー(臨床心理士・言語聴覚士等)は要請のあった園、学校に出向きカウンセリングを実施し、助言指導や情報の提供を行った。また、教職員等の研修講師や保護者講話等も行っている。教育指導アドバイザーは相談のほか教育全般への指導助言を実施している。</p> <p>相談61日予定のうち58日、延べ155件の個別面談と6回の研修講話を実施した。就学前では幼稚園での活用が中心であった。相談後の職員ミーティングで専門的な助言を受けることで、指導力向上へもつながっている。相談のあった学校からは継続的な活用があり、児童、生徒や保護者のカウンセリングを重ね、心の安定や悩みなどの軽減につながっている。</p> <p>○教育指導アドバイザー 1名 ○臨床心理士 3名(内2名は言語聴覚士の資格も保有) ○言語聴覚士 2名(内2名は臨床心理士の資格も保有) ○作業療法士 1名</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
3,856 (一般 3,856)	教育相談日数	日	目標値				予定61
			実績値				58
	カウンセリング件数	件	目標値				-
			実績値	155			
成果 自己評価	<p>悩みを持つ方々の不安やストレスを和らげたり、悩み等の解消に向けた相談活動を充実させることにより、心豊かに生きる子どもの育成に貢献している。</p> <p>就学前の幼児から小中学校の児童、生徒の健全な育成を図るため、カウンセラーによる専門的なカウンセリングや指導助言はとても有効であり、目的達成度は高い。</p> <p>子育て全般(子どもの発達や不登校等)や特別支援教育等で不安を抱える保護者、また関係教職員からの幅広いニーズに対応した相談体制のさらなる充実のため、市が関与する必要性がある。</p>				総合評価 (方向性)		
課題	<p>不登校や登校渋りの相談に関しては、カウンセラーへの相談は減ってはいるが、家庭生活や家庭での支援のあり方などの相談は増えている。</p> <p>言葉に関しては就学前から小中学校まで幅広い相談のニーズがあり件数も増えている。特に小学校低学年の相談が増えていることから、就学前からの支援が必要と考えられる。</p>				継続		
方向性	<p>相談のあった学校や園から継続的な活用がある。児童、生徒や保護者のカウンセリングを通して、専門的な助言を受けることで教師の指導力向上も図られている。気軽に活用できる相談となるようさらに周知を図りたい。必要に応じて、相談からさらなるケアへと進めるよう、医療の専門家へつなぐ方策も検討する。</p>						

点検評価調書		整理番号	13					
事業名	学校訪問指導の充実			担当課係名	学校教育課 指導係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策計画	教職員の資質の向上				
事業目的・内容	天草市教育委員会の教育目標及び基本方針に基づき、学校教育の大きな課題である社会の変化に対応できる人材の育成及び児童・生徒の個性の伸長を図り、あわせて本市教育水準の向上に資するため、市内小・中学校の現状を把握するとともに、学校教育の一層の充実を図るため、総合訪問、経営訪問、事務局訪問を行う。							
取組実績	[総合訪問]・・・小学校 7校、中学校 3校 合計10校 幼稚園 1園 1日訪問(諸表簿点検、授業参観、授業指導、経営説明、全体指導) [経営訪問]・・・小学校14校、中学校10校 合計24校 幼稚園 2園 半日訪問(授業参観、校地校舎の管理点検、学校経営説明、管理職への助言指導)							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
		実施校数	校	目標値				34
				実施園数	園	実績値	34	
						目標値	3	4
						実績値	3	
成 果 自己評価	<p>全ての小・中学校及び幼稚園訪問を実施した。教育委員会と学校による事前の打ち合わせにより、それぞれの学校(園)の課題を把握し、課題解決に向け適切な指導助言を行うことができた。特に、本市の重要課題でもある確かな学力の定着に向け、授業参観や分科会指導を通して、一人一人の教職員に対し、学習規律の徹底や指導法の工夫改善に向けた具体的な指導が行えた。多くの学校では、児童生徒が生き生きと学習する姿や、自分の活動に没頭する姿など、望ましい学習習慣定着の状況が確認できた。</p> <p>平成29年度から、経営訪問の在り方を見直し、これまでの諸表簿点検中心の指導から、授業参観を通して教師の学習指導に関する指導に切り替え、より施策計画に沿った訪問内容とした。</p>					総合評価 (方向性)		
課 題	<p>経営訪問の内容を見直し、授業への指導を中心とする訪問にしたので、学校のニーズに応じた内容になっているかどうか、校長など、学校の意見を聞き取る必要がある。</p> <p>また、危機管理体制(防災、防犯、問題行動、いじめ不登校問題)に対する学校への指導も強化していく必要がある。</p>					継続		
方 向 性	方向性としては、継続としたい。							

点検評価調査		整理番号	14				
事業名	市指定教育研究推進校補助金			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	教育目標	学校教育の充実	施策計画	教職員の資質の向上			
事業目的・内容	学校や地域の教育的な課題と関係づけた教科等や特別活動の実践的な研究を通して、児童・生徒の「考える力」「表現する力」「資料を活用する力」「自ら追究する力」の育成を図るとともに、「能動的な学習のための授業展開の工夫」などについて、その成果を普及することにより、本市教育の充実、教育向上に資するため、研究校を指定し天草市独自の事業を実施する。						
取組実績	<p>研究推進校を指定し独自の事業を実施 市指定校 5校(小学校3校、中学校2校) ○「学力充実」研究推進校</p> <p>本渡南小： 分かりやすい授業づくりを通じた「生きる力」の育成のための実践的研究 本渡北小： 「自分の考えをもち 伝え合い 高め合う北っ子」を目指して ～思いや考えをつなぐ学び合い～</p> <p>本渡中： 豊かな心に裏付けられた確かな学力の育成 佐伊津小： 「確かな読みの力をはぐくむ国語科指導方法の研究」 ～ユニバーサルデザインとICTを活用した授業改善～ 河浦中： 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、主体的に学ぶ力を育てる指導方法の工夫</p>						
決算額	指標：成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,000 (一般 1,000)	指定校数	校	目標値	5			
			実績値	5			
			目標値		4	4	4
			実績値				
成果 自己評価	児童・生徒の「確かな学力」の育成と教職員の教育指導力の向上は、本市にとって重要課題である。諸学力検査等の結果から、本市における小中学生の学力の実態はおおむね全国平均を若干上回る結果となっており、研究指定校における研究成果の発信による市内各学校への授業改善の成果であると考え。					総合評価 (方向性)	
課題	同じ学校が複数年連続して指定を受けることも多く、指定校が偏らないように検討することが昨年度までの評価で指摘されている。しかしながら、天草市内の小・中学校では学校規模の差が大きい。複数教師から構成された教科部会や学年部会の実施が可能な大規模校において、研究推進校としてリーダー的な役割を担っていることも大きな意味がある。指定の括りを学校単一ではなく、校区での指定も可能として柔軟に対応していきたい。					継続	
方向性	校区の小中学校が連携して、一つの指定を受けるなどして、学校単位にこだわらない指定の在り方を検討していきたい。						

点検評価調査		整理番号	15					
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策計画	学校・家庭・地域との連携				
事業目的・内容	保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。							
取組実績	本町小学校及び五和小・中学校に学校運営協議会を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果的な運用、コミュニティ・スクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組む。学校と保護者や地域が、共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子ども達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める。							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
365 (一般 365)		設置校数	校	目標値	3			
				実績値	3			
				目標値		4	4	4
				実績値				
成果 自己評価	平成29年度も、本町小学校、五和小・中学校の3校において実施され、防災、学習指導、行事等において、地域の教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。						総合評価 (方向性)	
課題	3校以外の学校では、予算措置を伴わない熊本版コミュニティ・スクールが設置された。今後は予算措置を伴う本事業と熊本版コミュニティ・スクールについて比較検討し、方向性を明らかにしていく必要がある。						継続	
方向性	方向性については継続しながら他市町村の動向を見て検討していきたい							

点検評価調書		整理番号	16				
事業名	小学校施設大規模改造事業			担当課係名	教育総務課 施設係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進			
事業目的・内容	<p>学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には、地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。築25年以上経過した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の耐久性を確保し、児童が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。</p>						
取組実績	<p><トイレ及びグラウンドの大規模改修工事、平成30年度以降工事測量設計委託></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 125,815千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・測量設計委託料 4,426千円(本渡北小学校仮設外設備改修設計、佐伊津小学校プール改修設計、本渡南小学校グラウンド測量設計 3件) ・本渡南小学校トイレ改修工事(建築、機械設備、電気設備 3件) 66,827千円 ・佐伊津小学校グラウンド改修工事その1～3(グラウンド舗装、側溝フェンス改修、バックネット改修 3件) 48,192千円 ・佐伊津小学校遊具設置工事 6,133千円 ・佐伊津小学校遊具撤去工事 237千円 <p>※市内小学校空調設備設置設計その1～その4 16,221千円(平成30年度へ繰越)</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
125,815 (国庫補助金 41,061) (一般 84,754)	整備件数	件	目標値	2			
			実績値	2			
	測量設計委託件数	件	目標値	3	4	4	4
			実績値	3			
成果 自己評価	<p>佐伊津小学校グラウンド改修工事及び本渡南小学校トイレ改修工事を行った。併せて平成30年度以降工事予定の測量設計業務3件を実施し設計が完了した。補助金の内示決定分については、計画どおりに年度内に事業を完了することができた。</p> <p>また、空調設備整備事業では、12月補正にて調査設計委託料を予算計上し、平成30年2月業務委託、平成30年度への繰越手続を行い、平成30年9月末完了としている。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>国庫補助金を財源とするため、国からの補助決定がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。</p> <p>また、補助対象外の大規模改修工事についても、別に財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。</p>					継続	
方向性	<p>天草市公共施設個別施設計画(H31～H42)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。</p>						

点検評価調査		整理番号	17					
事業名	中学校施設大規模改造事業			担当課係名	教育総務課 施設係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進				
事業目的・内容	学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。築25年以上経過した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の耐久性を確保し、生徒が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。							
取組実績	<p>当該事業は、国庫補助金の交付を受けて事業実施することになる。この事業費把握のため、測量設計等の事業委託を行うものである。</p> <p><平成30年度以降工事測量設計委託></p> <ul style="list-style-type: none"> ●総事業費 972千円 ●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・河浦中学校外壁改修設計 972千円 <p>※市内中学校空調設備設置設計その1～その3 12,506千円(平成30年度へ繰越)</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
972 (一般 972)		整備件数	件	目標値	2			
				実績値	0			
		測量設計委託件数	件	目標値	1	4	4	3
				実績値	1			
成果 自己評価	平成30年度以降工事予定の測量設計業務1件を実施した。なお、国庫補助金等の財源が確保できなかったため、改修工事は実施できなかった。 また、空調設備整備事業では、12月補正にて調査設計委託料を予算計上し、平成30年1月業務委託、平成30年度への繰越手続を行い、平成30年5月末完了としている。						総合評価 (方向性)	
課題	国庫補助金を財源とするため、国からの補助決定がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。また、補助対象外の大規模改修工事についても、財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。						継続	
方向性	天草市公共施設個別施設計画(H31～H42)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。							

点検評価調査		整理番号	18																																															
事業名	小・中学校統合推進事業			担当課係名	教育総務課 施設係																																													
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進																																												
教育振興 基本計画	教育目標	学校教育の充実	基本方針	教育を支える環境づくりの推進																																														
事業目的・内容	<p>天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。</p> <p>○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。</p> <p>○中学校 中学校15校を13校にする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校数の年度別推移</th> <th colspan="9">単位: 校</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th></th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td></td> <td>42</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td></td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>						学校数の年度別推移		単位: 校									年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	小学校		42	41	35	29	22	22	22	21	17	中学校		15	15	13	13	13	13	13	13	13
学校数の年度別推移		単位: 校																																																
年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30																																								
小学校		42	41	35	29	22	22	22	21	17																																								
中学校		15	15	13	13	13	13	13	13	13																																								
取組実績	<p>(1)志柿・下浦・瀬戸地区、有明地区学校統合推進協議会、準備委員会等を開催し、統合に向けての協議を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志柿・下浦・瀬戸地区学校統合推進協議会 1回 ・学校統合準備委員会 5回 ・有明地区学校統合推進協議会 1回 ・学校統合準備委員会 4回 <p>(2)統合に伴う志柿小学校、瀬戸小学校、大楠小学校、浦和小学校、島子小学校5校の閉校式を行った。</p> <p>総事業費 【主として小学校統合に関する消耗品費、手数料、移転作業委託料、工事請負費、備品購入等に使用。※工事請負費については、前年度統合の牛深東小学校駐車場整備工事 11,974千円を実施。】 報償費 130千円、消耗品費 5,121千円、手数料 1,279千円、委託料 6,705千円、使用料及び賃借料 601千円、工事請負費 11,974千円、備品購入費 12,102千円 計 37,912千円</p>																																																	
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価																																														
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																																											
37,912 (一般 37,912)	小学校数	校	目標値	17																																														
			実績値	17																																														
	中学校数	校	目標値	13																																														
			実績値	13																																														
4	4	4																																																
成果 自己評価	天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、志柿小学校、本渡東小学校及び瀬戸小学校、大楠小学校、浦和小学校及び島子小学校の学校統合決定に伴い、学校統合準備委員会と学校統合推進協議会を開催し、統合に向けた協議を行い、本渡東小学校及び有明小学校として4月に開校することができた。					総合評価 (方向性)																																												
課題	廃校施設及び跡地については、庁内組織である公有財産利活用検討委員会に諮り、利活用方法について検討を行う必要がある。					継続																																												
方向性	平成30年度をもって、天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画は完了となるが、今後も児童生徒がよりよい教育環境の中で、より効果的な教育が受けられるよう努力する必要がある。																																																	

点検評価調書		整理番号	19					
事業名	小中学校ICT整備事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進				
事業目的・内容	<p>社会の情報化が急速に進展し、児童・生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけることの重要性が高まっている。このような中でICT機器を活用した「分かる授業」を実施し、「確かな学力」の育成に資するために計画的に環境整備を図る。</p>							
取組実績	<p>○パソコン教室の整備 パソコン教室のデスクトップパソコンをタブレット端末へ更新 牛深中37台、牛深東中32台、有明中41台、御所浦中28台、倉岳中28台、栖本中34台、新和中22台、五和中37台、天草中29台、本渡南小37台、本渡北小42台、次年度購入校先行配置分17台、特別支援学級配置分57台 計441台 ○ICT機器の更新・修繕 特別教室へ実物投影機、プロジェクターを配置 74組 ○教職員向けICT研修委託 パソコン教室のデスクトップパソコンをタブレットへ更新した11校で開催</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
107,268 (一般 107,268)		パソコン教室整備校	校	目標値				11
				実績値	11			
		整備台数	台	目標値	441	4	4	4
				実績値	441			
成果 自己評価	<p>児童生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけることの重要性が高まる中で、ICT機器を活用した「分かる授業」の実施により、「確かな学力」の育成に貢献している。 タブレット端末等の導入及び教職員向けICT研修により、授業や教材研究など、教職員のICT機器の活用能力の向上に寄与するとともに、ICT機器を活用した授業づくりを行うことで、児童生徒の授業に対する関心や学習理解を高めることができた。 また、今後更にICT環境の整備が求められる状況で教育条件の不均衡が生じることのないよう、タブレット端末の整備期間を7年から4年の計画に見直しを行った。</p>					総合評価 (方向性)		
課題	<p>児童生徒のICT機器の活用能力の向上や児童生徒が主体的に学ぶ意欲を引き出す授業づくりができるよう、教職員のICT機器の操作・活用方法などの研修を検討する必要がある。</p>					拡充		
方向性	<p>方向性については、文部科学省の学習指導要領等に示される内容に基づき整備したいと考えており、拡充して取り組みたい。</p>							

点検評価調書		整理番号	20					
事業名	スクールバス運行事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進				
事業目的・内容	小・中学校の統合で通学距離が遠距離となった児童・生徒の安全かつ安心な通学手段の確保するため、スクールバス(ボート)を運行(航)する。							
取組実績	スクールバス・スクールボートの運行(航)管理業務委託事業(平成29年度末) 【本渡】小学校3台(うち市有1台) 中学校1台 【牛深】小・中学校9台 【有明】小学校1台 中学校2台 【御所浦】小学校3台(うちタクシー1台)小・中学校1隻 【倉岳】小学校2台 【栖本】小学校1台 【新和】小学校4台 【五和】小学校7台 中学校5台 【天草】小学校3台 中学校2台 【河浦】小学校4台 中学校2台 計 スクールバス49台(うち市有1台、タクシー1台) スクールボート1隻							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
388,884 (国庫補助金61,645) (一般 327,239)		スクールバス運行校	校	目標値	20			
				実績値	20			
		乗車人数	人	目標値	1156			
				実績値	1156			
				4	4	4		
成 果 自己評価	学校統合に伴う遠距離通学者の通学手段として、貢献度の高い事業である。 本渡東小学校・有明小学校の学校統合にあたり、平成30年度からの運行路線 等の調整を行うとともに、運行(運航)する全ての路線において遠距離通学者の交 通手段として安心安全な通学環境を確保することができた。					総合評価 (方向性)		
課 題	平成30年度においても、学校の統合により新たな需要が見込まれ、運行台数 の増数による予算の拡大に繋がる可能性がある。また、「スクールバスは教育に 関するものである」との位置づけを踏まえ、事業者及び運転手に対し児童生徒へ の対応等の指導を行い、常に安心で安全な運行に努める必要がある。					拡充		
方 向 性	方向性については、30年度までは学校統合を行うため、拡充して取り組みたい。							

点検評価調書		整理番号	21					
事業名	地産地消の推進			担当課係名	学校給食課			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 学校給食の充実			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学校給食における食の安全と食文化の推進				
事業目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。 ・天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔が見える給食づくりを目指す。 							
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・天草産のクレソンを使用したかき揚げを給食に提供した。 ・天草宝島お魚給食の日を設け、天草産のヤノイオとシイラを天草漁協・水産振興課の協力を得てヤノイオのみそ焼やかば焼きなどにして給食に出した。また、6校の小中校で、「藻場減少とヤノイオの関係」や「シイラの漁法について」の出前講座を行った。 							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		熊本県産農林水産物 (品目の割合) 熊本県産 天草県産	%	目標値	55			
					実績値	50.92 24.11		
		天草産農林水産物 (金額の割合)	%	目標値	15	4	4	3
					実績値			
成果 自己評価	冬の寒冷のため野菜の高騰により地元産を使用できない時期もあり、地産地消率を上げることができなかった。						総合評価 (方向性)	
課題	天草産の活用については、食材の量・品目数・規格・価格面などの課題があるが、地元JAや漁協、生産者及び農林・水産振興課と連携して組織的に取り組む必要がある。						継続	
方向性	地元の食材を利用した献立の内容を充実して継続していきたい。							

点検評価調書		整理番号	22				
事業名	学校給食施設整備事業			担当課係名	学校給食課		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 学校給食の充実		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学校給食における食の安全と食文化の推進			
事業目的・内容	各給食センターの給食設備を整備し、安全で衛生的な給食を安定的に提供する。						
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・倉岳学校給食センターの解体工事 事業期間 平成28年度から平成29年度 事業費 5,943,990円(H29年度繰越分 3,943,990円) ・本渡学校給食センター過熱水蒸気オープン取替工事 事業期間 平成29年度 事業費 23,954,400円 						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
27,899 (一般 7,999) (市債 19,900)	対象事業数	件	目標値	2			
			実績値	2			
			目標値		4	4	4
			実績値				
成 果 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・倉岳学校給食センター解体工事は、倉岳中学校に隣接していたため、更地になり学校での行事などの駐車場としての利用ができるようになった。 ・調理機器の焼き物機は、古く故障の心配があったが、過熱水蒸気オープンに更新することが出来、安定的においしい給食を作れるようになった。 					総合評価 (方向性)	
課 題	学校給食センターの設備が古くなって来ているため、更新をする機器が増えてきているので、故障や部品の供給状況を確認しながら更新して行く必要がある。					継続	
方向性	老朽化した給食設備を、計画的に更新する。						

点検評価調書		整理番号	23				
事業名	家庭教育支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画 生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行い、家庭教育の再生を図る。</p> <p>●内容</p> <p>① 家庭教育支援員配置 家庭教育支援員を配置し、学校や地域の実情に応じて、家庭教育支援に関する業務 ・学校や地域の実情に応じた家庭教育支援に関する業務 ・各小学校の就学時健診やPTA行事等の際に家庭教育に関する講座を開催 ・3歳児、5歳児検診時等に家庭教育講話を開催</p> <p>② 家庭教育学級等講師派遣(社会教育指導員、家庭教育支援員及び外部講師) ・保育園(所)、幼稚園及び小中学校等への講師派遣 ・3歳児、5歳児検診時等の家庭教育講話</p>						
取組実績	<p>① 家庭教育支援員配置 本渡東小学校、大楠小学校に各1人配置</p> <p>② 家庭教育学級等講師派遣 各小中学校の就学時健診、PTA行事や3歳児・5歳児健診等の際、家庭教育に関する講座を開催 ・実施回数192回(小学校48回、中学校24回、幼稚園6回、保育所(園)6回、3・5歳児健診61回、 その他児童館等47回) ・延べ参加者数 6,959人</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,042 (県支出金 664) (一般 378)	家庭教育講座開催数	回	目標値	180	4	4	4
			実績値	192			
	家庭教育講座参加者数	人	目標値	6,000	4	4	4
			実績値	6,959			
成果 自己評価	<p>本渡東小学校、大楠小学校に家庭教育支援員を1名ずつ配置し、学校や地域の実情に応じた情報誌の発行・配付、相談体制、家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等、家庭教育支援を行った。</p> <p>また、家庭教育支援員2名と社会教育指導員2名が天草教育事務所社会教育主事等と連携し、小中学校だけでなく、様々な場で家庭教育講話を開催することができ、講座、講座参加者数とも増え、目標値を上回っており、幼児期のうちから家庭教育についての重要性を認識することができた。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>保育園の保護者への周知を行い、家庭教育の機会の拡充を図る必要がある。</p> <p>また、地域学校協働活動の推進に合わせた事業を進める必要がある。</p>					見直して継続	
方向性	<p>家庭教育支援員の配置については、平成30年度統合した学校に配置しており、今後は、地域学校協働活動の推進に合わせ見直す。</p> <p>また、家庭教育学級等への講師派遣については、保育所等での実施など子育て支援課等と連携し、積極的に推進していく。</p>						

点検評価調書		整理番号	24					
事業名	成人式			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 人生の節目を迎えた新成人が大人としての生き方を考え、決意する場、友人と再会しその喜びに浸るとともに、今後の生き方を語り合い励ましあう場、家族が子ども・孫の成長を実感し新成人と共に喜びを分かち合うとともに、新成人が家族への感謝を感じる場とする。</p> <p>●内容 ・10地区で開催 8月16日 牛深、1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦、1月4日 御所浦、新和、五和 ・式典の実施 アトラクションとして各地区の郷土芸能披露や成人者自身が成人としての決意を発表。 ・終了後記念撮影をして、天草市の記念品として贈呈。</p>							
取組実績	10地区で開催 8月16日 牛深、1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦、1月4日 御所浦、新和、五和 対象者数 918人 参加者数 795人(参加率 86.6%)							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
819 (一般 819)		参加率	%	目標値	85.0			
				実績値	86.6			
				目標値		4	4	4
				実績値				
成 果 自己評価	地域の来賓や保護者に見守られながら、自らが成人となることを実感するとともに社会人としての責任と義務を自覚する機会となっている。また、新成人の出席率も86.6%と非常に高い。						総合評価 (方向性)	
課 題	今後新成人の数は著しく減少する見込みであり、出席率を保ちながら、新成人や保護者、地域にとって魅力ある成人式の内容について検討を続ける。 成人年齢の引き下げ(18歳)による対応を検討する必要がある。						継続	
方 向 性	当面は、10地区ごとの開催を継続するが、成人年齢の引き下げと今後の新成人数の減少や地域の希望等を鑑みながら、適切な開催の在り方についても検討を続ける。							

点検評価調書		整理番号	25					
事業名	移動図書館事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 図書館のない地域、図書館から遠い地域に住む市民のため、移動図書館車で地域を巡回し、図書館サービスを提供することで、市民の読書活動を推進する。 また、小学校・幼稚園・児童館等の配本場所に定期的に巡回することで、学校図書館に所蔵してない図書と出会う機会ができ、子どもの読書活動の推進につながる。</p> <p>●内容 移動図書館車3台で天草全域に実施している。 ①中央図書館…本渡・有明・倉岳・栖本地区へ53箇所実施(車両:H25年度購入) ②御所浦図書館…横浦島を含む御所浦全域29箇所実施(車両:H23年度天草町より移管) ③河浦図書館…河浦・牛深・天草地区へ64箇所実施(車両:H23年度経済対策により購入)</p>							
取組実績	訪問箇所:146箇所 利用冊数:118,957冊 利用者数:12,444人							
決算額		指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
2,646 (一般 2,646)		利用冊数	冊	目標値				106,000
				実績値	118,957			
		利用者数	人	目標値	11,700	4	4	4
				実績値	12,444			
成果 自己評価	本年度は、図書の利用冊数、利用者数とも目標を達成することが出来た。					総合評価 (方向性)		
課題	図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、移動図書館での訪問箇所を見直し、内容を充実して継続していく必要がある。					継続		
方向性	移動図書館車までの移動が困難な市民への、読書の機会を提供する機会を確保する。 例)入院患者等への本の貸し出し							

点検評価調書		整理番号	26				
事業名	読書活動推進事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 市民に読書の楽しさを理解してもらい、意欲的に読書に親しんでもらう機会を提供することで、市民の読書活動の推進を図る。また読み聞かせボランティアの研修会等を実施することにより、図書館との連携を強化し、読み聞かせ活動を家庭や地域に広げる。</p> <p>●内容 天草市立中央図書館開館40周年記念イベント、ボランティア交流会、童話発表会、アマクサ・ライブラリー・カフェ、古文書学習会及び巡回講座の開催を実施。</p>						
取組実績	<p>○天草市立中央図書館開館40周年記念イベント…原ゆたかさん「お絵かきワークショップ」を実施110人の参加者があった。</p> <p>○ボランティア交流会…読み聞かせボランティアの交流とスキルアップを目的に開催し77人の参加があった。</p> <p>○童話発表大会…童話や民話などを児童が発表(発表時間:1~2年生一人5分、3~6年一人7分)する大会で児童34人が出場し、天草地方大会へは13人が出場した。</p> <p>○アマクサ・ライブラリー・カフェ…さまざまなジャンルのゲストを招へいし、年間5回開催し、98人の参加があった。</p> <p>○古文書学習会…天草の古文書を教材に学習会を開催し、天草の歴史研究家の育成に努めている。年間63人の参加があった。(毎週第3土曜日に開催)</p> <p>○巡回講座…年間計画に基づき各学校等への読み聞かせ活動により、本に親しむ機会を提供する。年間27回開催、2,114人への読み聞かせを行った。</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
640 (一般 640)	図書館利用冊数	冊	目標値				414,000
			実績値	418,111			
	図書館利用者数	人	目標値	100,000	4	4	4
			実績値	101,491			
成果 自己評価	図書館利用冊数及び利用者数ともに、目標を上回ることが出来た。				総合評価 (方向性)		
課題	テレビやインターネット等の普及により子供たちの活字離れが進んでいる。今後も家庭、地域、学校及び行政が連携協力して、読書活動を推進していく必要がある。				継続		
方向性	他部局との連携による読書活動の推進を図る。 例)子育て支援課との連携による、ブックスタート事業						

点検評価調査		整理番号	27					
事業名	生涯学習推進事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画 生涯学習の推進			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 生涯学習の充実を図るため、市民に多様な学習機会の提供を行うとともに、学習情報の提供や学習相談の充実等の支援を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民全体に学習の機会を提供するため、旧市町単位で人権学習、家庭教育などの全体講座の開催。 ・学習の機会を得にくい市民に対して、各地区に講師等を派遣し、健康づくり、消費生活などの出前講座の開催。 ・市民のニーズや要望に対する、生涯学習人材バンクを活用した講座の開催。 ・天草Webの駅や紙媒体を活用し、講座の情報発信。 ・講座受講者が学んだ成果を発表する場の提供。 							
取組実績	<p>○全体講座の開催(市民全体に対し、公民館単位で学習の機会の提供) 開催数64回 参加延人数3,401人</p> <p>○出前講座の開催(比較的学習の機会を得にくい市民に対し、身近な場所で学習の機会の提供) 開催数246回 参加延人数6,842人</p> <p>○市民の学習ニーズや要望に対応した講座の開催(生涯学習人材バンクを活用した講座の開催) 開催数7回 参加延人数184人</p> <p>講座開催数計317回。多様な学習の機会を述べ10,427人の市民の方に提供することができた。</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
2,205 (一般 2,205)		講座開催数	回	目標値				350
				実績値	317			
		参加延人数	人	目標値	13,000	4	4	3
				実績値	10,427			
成果 自己評価	<p>学習講座を地区振興会等関係団体と連携し、更に内容、開催時間等についても各地区の実情や対象者に合わせて開催したことで、講座開催数については、地区公民館の再編を行った平成25年以降、最も多く開催できた。 また、受講後、自主学級に3団体が結成にいたるなど自主的な活動につながった。</p>					総合評価 (方向性)		
課題	<p>学習に特化した公民館として、学習講座の開催を主とした事業を行い、5年が経過。地区振興会等の関係機関と連携を行い、事業を推進することで定期的に講座を開催し、天草市地区公民館の事業が認識されつつある反面、参加者が固定化し、講座内容がマンネリ化している。 これまで講座を行っていなかった地域や比較的講座に参加する機会のない市民に対して参加を促すと共に、受講対象者に合わせた効果的なPR方策を検討する必要がある。 また、単なる受講だけに留まっている傾向であり、学んだ成果をいかに地域社会に生かせるか検討する必要がある。</p>					継続		
方向性	<p>市の事業の推進、地域の課題解消や学習の成果を地域社会に活かせる事業であるため、今後も継続で進めたい。</p>							

点検評価調書		整理番号	28				
事業名	勤労青少年ホーム事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 勤労青少年に対して、各種の相談に応じ、必要な指導を行ない、レクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行なわれる活動のための便宜を供与する等勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行なう。</p> <p>●内容 ・教養講座、スキルアップ講座、特別講座の開催</p>						
取組実績	<p>・教養講座、スキルアップ講座、特別講座の開催</p> <p>教養講座 ①料理講座 ②ヨガ講座 ③エアロビック講座 ④サマースポーツ講座 ⑤フラダンス講座 ⑥防災ボランティア養成講座</p> <p>スキルアップ講座 ⑦ユカタ着付け講座 ⑧着物着付け講座 ⑨アーユルヴェーダ講座 ⑩ペン字講座</p> <p>特別講座 ⑪出前講座 受講生延べ1,138人</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
468 (一般 468)	開設講座数	講座	目標値				14
			実績値	11			
	受講者数	人	目標値	900	4	4	4
			実績値	1,138			
成 果 自己評価	対象年齢を35歳未満から45歳未満に引き上げられたことや公民館と連携した講座を開設したことで、登録者数受講生数は増加したが、開設講座数は目標には達していない。				総合評価 (方向性)		
課 題	講座内容の見直しや公民館と連携した講座の開設により、更に、広範囲での市民のホーム利用を推進して行く必要がある。 また、法律の改正により、勤労青少年ホームの位置づけがなくなったが、青少年への場の提供など支援は必要であり、天草市複合施設建設に合わせ見直しを行う必要がある。				見直して継続		
方 向 性	公民館の生涯学習推進事業と連携し事業を実施するとともに、天草市複合施設建設に合わせ、生涯学習推進事業との一本化も含め講座の在り方を見直す。						

点検評価調書		整理番号	29				
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、青少年の非行防止を目的とする。</p> <p>また、教育関係者や保護者をはじめ全ての市民の間で本市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的とする。</p> <p>●内容 ○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表 ○社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会の開催</p>						
取組実績	<p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表 ○社会を明るくする運動と教育力活性化推進大会を分けて開催 “社会を明るくする運動”青少年健全育成大会 参加者数268人 ・作文・標語コンテスト入賞者表彰、最優秀作文の発表 ・事例発表 天草本渡青年会議所、天草市社会福祉協議会 ・講演 演題「子どもネット犯罪の現状」講師 天草警察署生活安全課長 荒毛俊至さん 教育力活性化推進大会 参加者数203人 ・オープニング 魚貫住吉神社「塩振り踊り」 ・実践発表 河浦小学校、新和中学校、天草拓心高校、牛深高校 ・講演 演題「地域協働の重要性」 講師 NPO法人スクール・アドバイザー・ネットワーク理事長 生重幸恵さん</p>						
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
600 (一般 600)		社会を明るくする運動 標語、作文応募数	品	目標値 1,000 実績値 1,518			
		大会参加者数 (実績は2大会分)	人	目標値 450 実績値 471	4	4	4
成果 自己評価	社会を明るくする運動については、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、教育力活性化推進大会は、参加した市民や教育関係者が、それぞれの活動の以後の参考となり、教育意欲の向上につながった。 また、平成29年度は、イベント等の開催見直しにより、社会を明るくする運動と教育力活性化を分け、“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会としてを開催した。					総合評価 (方向性)	
課題	平成29年度は大会を分けて開催したが、大会内容については、大会の特色を生かした内容となるよう検討が必要である。					継続	
方向性	参加した市民や教育関係者にとって、より今後の活動の参考になるような内容を企画しながら継続する。						

点検評価調書		整理番号	30					
事業名	放課後子ども教室			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することで地域社会全体の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容 地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの居場所を確保するとともに遊びや学習機会を提供する。</p>							
取組実績	<p>継続2教室 本渡東小学校(下浦地区:下浦地区コミュニティセンター) 島子小学校(島子地区:つわの花)</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価			
平成29年度(千円)		指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
676 (県支出金 272) (一般 404)		実施校数	校	目標値				3
				実績値	2			
		参加者数	人	目標値	2,000	4	4	3
				実績値	2,174			
成 果 自己評価	<p>2校については、継続して実施でき、放課後等の子どもの居場所を確保するとともに、遊びや学習機会を提供することができた。 29年度新設予定の1校については、地域の実施体制が整わず、実施することができなかった。</p>					総合評価 (方向性)		
課 題	<p>「放課後児童クラブ」の配置状況や進捗状況を見ながら見直しを含め検討する必要がある。 また、部活動の社会体育への移行や地域学校協働活動の推進とともに、学校、地域の実情に合わせた事業を進める必要がある。</p>					見直して継続		
方 向 性	地域学校協働活動の推進とともに、学校、地域の実情に合わせ見直す。							

点検評価調書		整理番号	31				
事業名	青少年健全育成事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。 地域の伝統的事業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りや異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p> <p>●内容 ・青少年育成事業補助金 青少年を対象とした各種体験活動及び交流活動を行う事業に対し、補助金を交付する。(総事業費が10万円以上の事業に対して、2分の1を補助。) 【地区限定事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、150,000円を上限とする。 【市内全域事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、200,000円を上限とする。</p>						
取組実績	<p>○実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人天草本渡青年会議所 ・竜洞山みどりの村運営協議会 ・栖本地区振興会 ・天草市立本町小学校PTA ・御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会 						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成29年度(千円)	指標名	単位	平成29年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
1,749 (一般 1,749)	補助金申請団体数	団体	目標値				10
			実績値	5			
	参加者数(天草市)	人	目標値	320	4	4	3
			実績値	222			
成果 自己評価	<p>地域の伝統的事業の体験や歴史学習によりふるさとのよさを再発見することで、ふるさを愛する子どもたちの育成につながった。また、日常生活では体験することの少ない自然体験や他地域の子どものちとの異年齢交流、外国文化との交流を行うことにより、感謝の気持ちや思いやりの大切さを感じたり、ふるさとの素晴らしさを知るなど、青少年の健全育成に大きな成果があった。 しかしながら、28年度から1団体減り、5団体からの申請となり、補助金申請団体数、参加者数ともに目標には達しなかった。</p>				総合評価 (方向性)		
課題	<p>補助の内容については、平成28年度見直したところだが、申請団体は増加していない。 補助制度の周知の方法を見直す必要がある。</p>				継続		
方向性	<p>市民団体等を主体とした青少年育成活動をさらに活性化するために、補助制度の周知に力を入れながら継続する。</p>						